



日韓問題解決への一視点

私の体験から——その6

瀧山 養

日本が中国と友好条約を結ぶと、政府は台湾を切り捨ててしまった。フランスはいち早く中国に進出していながら、今度は台湾の新幹線のコサルタント

日韓トンネル

将来は、日本と韓国が「日韓トンネル」を通じて行き来できるようにになるかもしれない。写真はソウル市街

験が全然ない事が判明したので、台湾はフランスとの契約を破棄し、日本と正式に契約する事に決定した。日本の民間の底力の勝利の結果である。

新幹線相互乗り入れの夢

契約を結んでしまった。台湾は慎重にもドイツと日本と民間ベースでチェックするコンサルタント契約を結ぶこととした。

恩人の安京模博士がこの五月、私が老妻と家に籠もって死期が迫っているとき、子息に付き添われて拙宅に見舞いに來られた。そして、韓国の新幹線を日本に頼んだ方が良かったという声が次第に

せて頂いた。環境問題、福祉問題が重視されて来ると、日本の幹線交通は航空を抑えて新幹線を骨子とする時代となり、マイカー、トラックともに見直される時期となった。そこで、日韓の新幹線列

加している。先達ての阪神の大地震の際、神戸は韓国人の多い所であるが、日韓人が一体となつてボランティア活動を行って助け合った事は心を打たれる美談である。戦前の関東大震災の暗

で騒ぎが起きている。これはすこぶる重大な問題である。日本は占領政策で国定教科書を廃止し自由選択とした。しかも教科書の選定権を五十年間にわたり、日教組が握つて来た。したがって国家を否定し、明治以降の近代史を正確に教えないものが多かった。

今日、政治で問題となつてゐるのは外交と教育と治安である。内容に間違つた事は改めなければならぬが、お互いに相手の言い分にも耳を傾けて語り合うことが必要に思ふ。私の体験が参考になれば幸いである。

(元海外鉄道技術協力協会理事長)

〓 終わり 〓

強まっている事を知らされて嬉しかった。二人の友情は日本人同士に見られない強い絆があった。

車が互ひ並みに相互乗り入れをする夢が生まれた。静かに考えてみると、日本の国内は戦前と戦後はまるで変わっている事に気がつくのである。韓国人の芸能人やスポーツの選手やインテリまで日本に帰化する人も少しずつ増

い話を打ち消す値打ちがあると思う。日本に小泉内閣が誕生し、構造改革を断行し戦後五十年にわたる政治と行政にメスを入れようとし、国民の支持率が驚異的に上昇したのである。

新しい教科書の問題が急に浮上して、韓国